

佐賀県緊急経済対策 平成25年度 当初予算案



平成25年2月12日

Copyright©2013 佐賀県 All Rights Reserved.

佐賀県緊急経済対策





1. 対策の基本的な考え方

○ 我が国の経済状況

- ・円高・デフレ不況の長期化
- ・製造業の競争力低下、貿易赤字の拡大
- ・過度な円高は修正されつつあるが、閉塞感を払拭できない状況

○ 国の取組

- ・平成25年1月 「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を決定

○ 県の取組

- ・国の対策に呼応し、本県においても国の資金を活用して「佐賀県緊急経済対策」を実施し、県内経済の活性化を図る

2-(1). 対策のポイント

ポイント1

《総額約280億円+α》

- 平成24年度2月補正による総額約280億円規模の経済対策
- 平成25年度は、「地域の元気臨時交付金」(α:金額未定)を活用した経済対策を追加実施の予定

○防災・減災等

老朽化対策や事前防災・減災対策等を実施

○暮らしの安心・地域活性化等

生活空間の安全確保や質の向上、基幹的交通インフラの整備等を実施

* なお、この経済対策は、行財政運営計画2011における財政フレームの外枠として実施

ポイント2

《入札契約における特例措置の実施》

- 早期発注により本対策の成果を高めるため、見積期間の短縮や総合評価落札方式を適用しないことなど、特例を設ける

2-(2). 対策の内容①

防災・減災等(約150億円)

- **老朽化した社会資本等の点検・補修及び更新**
 - ・道路、港湾、ため池、揚排水機場・水門、県営住宅 等
- **地震、津波、大規模災害に対する事前防災・減災対策**
 - ・海岸堤防、農業水利施設、県管理建築物の耐震化 等
- **風水害・土砂災害等に対する事前防災・減災対策**
 - ・河川改修、砂防堰堤整備、道路法面保護、クレーク護岸整備 等



2-(2). 対策の内容②

暮らしの安心・地域活性化等(約130億円)

○ 生活空間の安全確保と質の向上

- ・児童等の安全確保のための歩道整備、無電柱化の推進 等

○ 基幹的交通インフラ等の整備促進

- ・インターチェンジ、空港、鉄道駅へのアクセス道路や港湾の整備

○ 農林水産業の活性化

- ・農業用排水路・圃場・暗渠排水の整備、漁港改修、海底耕耘 等

○ 暮らしの安心の確保、教育体制の整備

- ・スクールカウンセラーの配置
- ・緊急雇用創出基金、安心こども基金等の各種基金事業 等



2-(3). 入札契約における特例①

目的

- ・ 手続期間の短縮による工事の早期発注
- ・ 地域経済の活性化

緊急経済対策に
限定適用

見積期間の短縮、総合評価落札方式の適用除外

※ 土木一式工事の場合

5,000万円以上

現行

公

概ね40～50日(入札参加申込期間・見積期間)

入札

特例

告

概ね21日

入札

総合評価落札方式を適用しない

500万円以上～5,000万円未満

現行

公

概ね21日(入札参加申込期間・見積期間)

入札

特例

告

概ね14日

入札

500万円未満

現行

公

概ね18日(入札参加申込期間・見積期間)

入札

特例

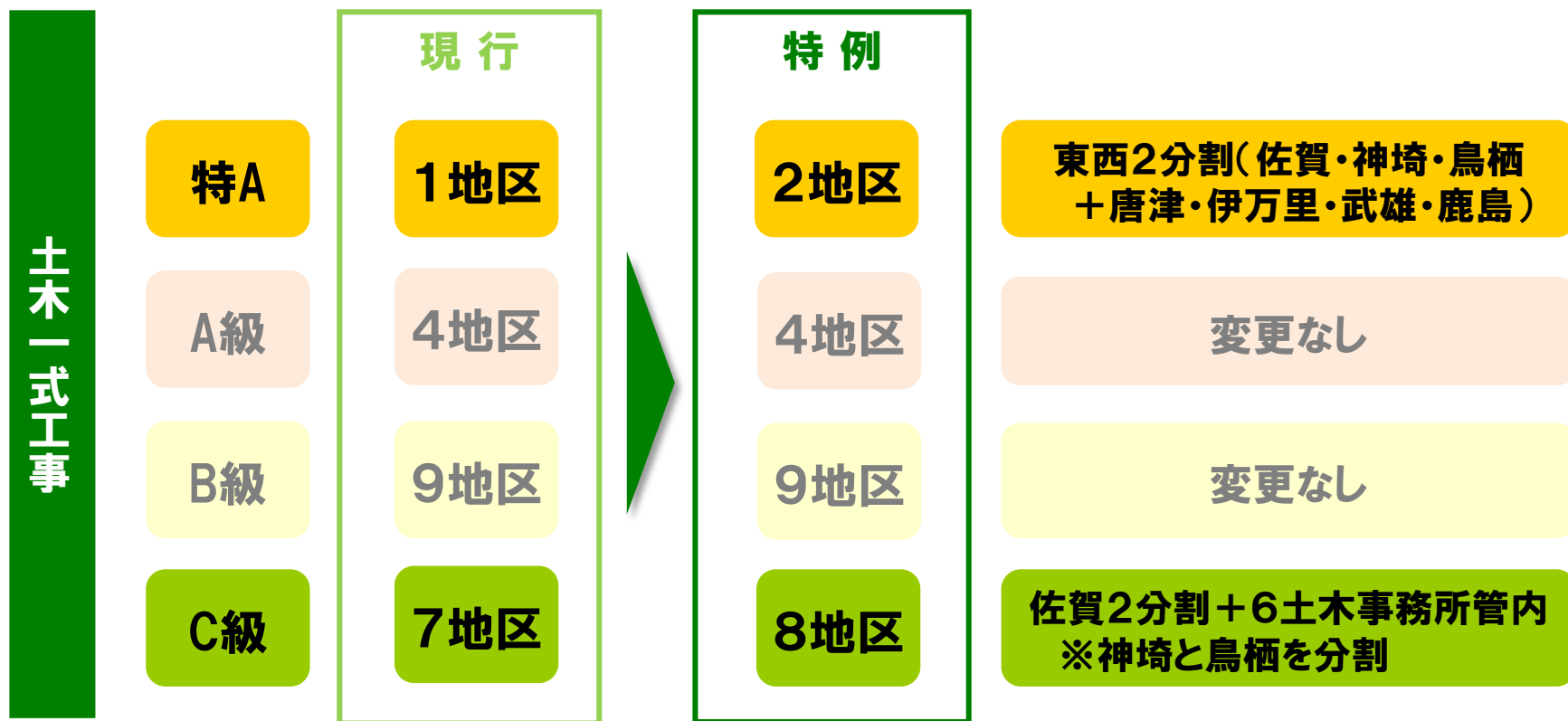
告

概ね11日

入札

2-(3). 入札契約における特例②

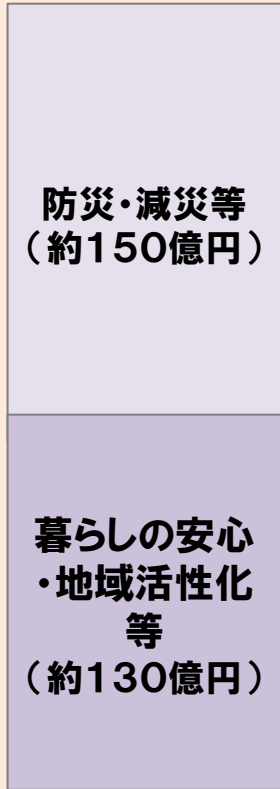
地域要件の絞り込み



3. 対策の全体像(規模の概要)

歳出(分野別)

《約280億円》

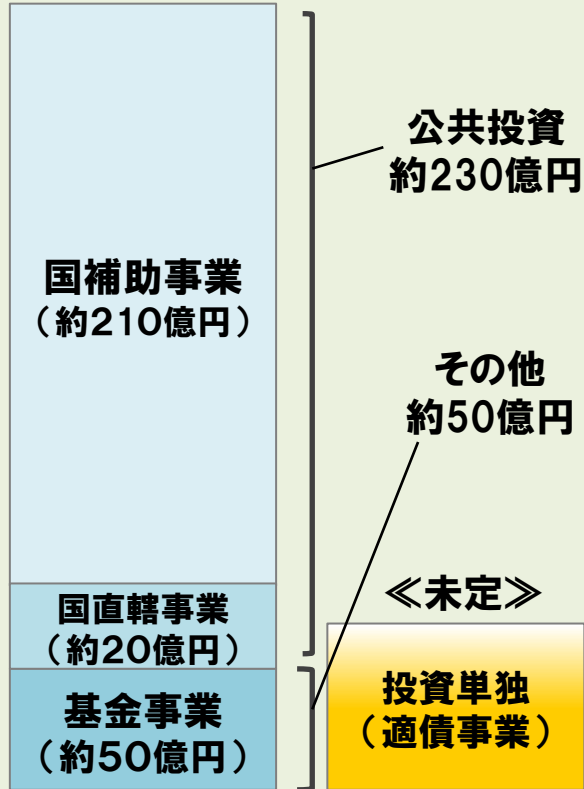


H24

H25

歳出(性質別)

《約280億円》

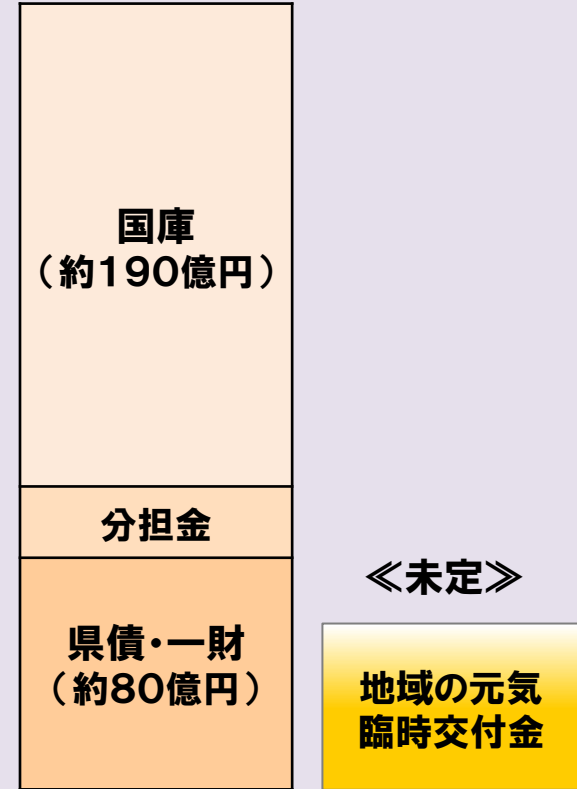


H24

H25

財源

《約280億円》



H24

H25

平成 25 年度 当初予算案



I 予算の基本的な考え方

II 予算案の規模

1 歳出予算の概況

2 歳入予算の概況

III 主要事業





I 予算の基本的な考え方

佐賀県総合計画 2011

佐賀県行財政運営計画 2011



**『今日より明日を必ず良くする。』ために
緊急経済対策と合わせて総合計画の
取組を加速させるための予算**

Ⅱ 予算案の規模

当初予算案総額

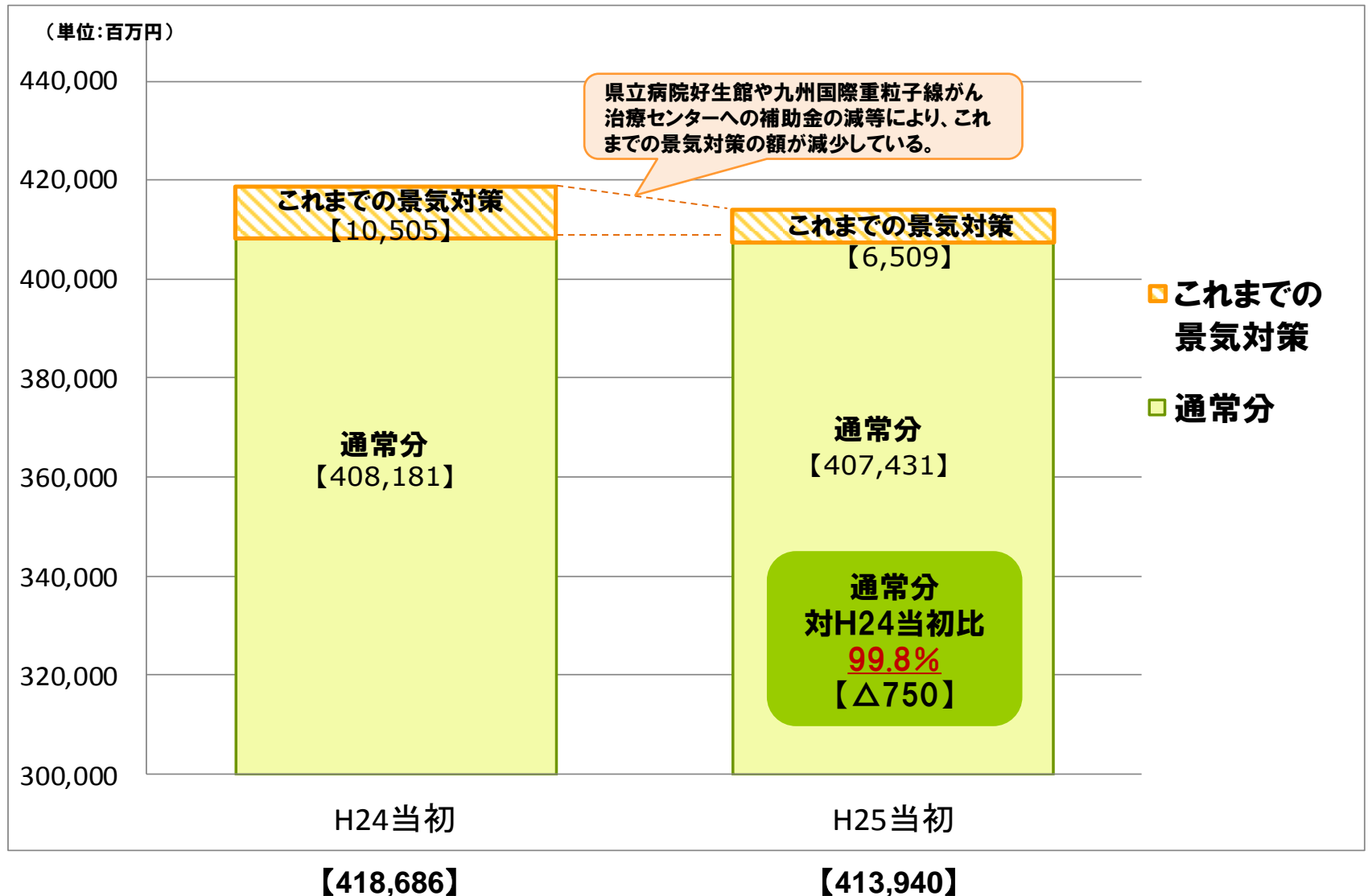
4,139億40百万円
(24年度 当初予算比 Δ 1.1%)
(24年度 現計予算比 Δ 3.4%)

これまでの
景気対策

65億09百万円



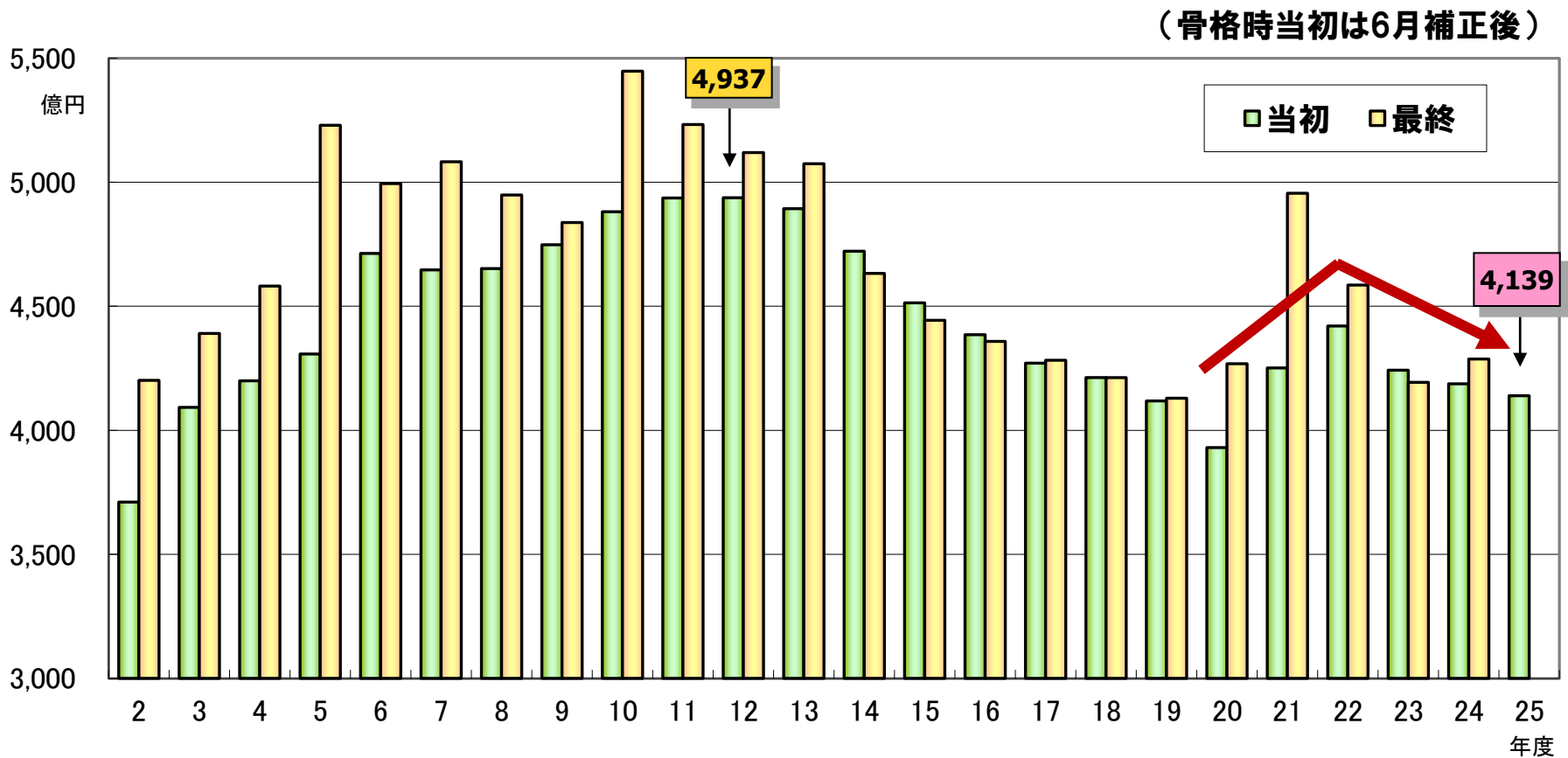
予算規模の比較



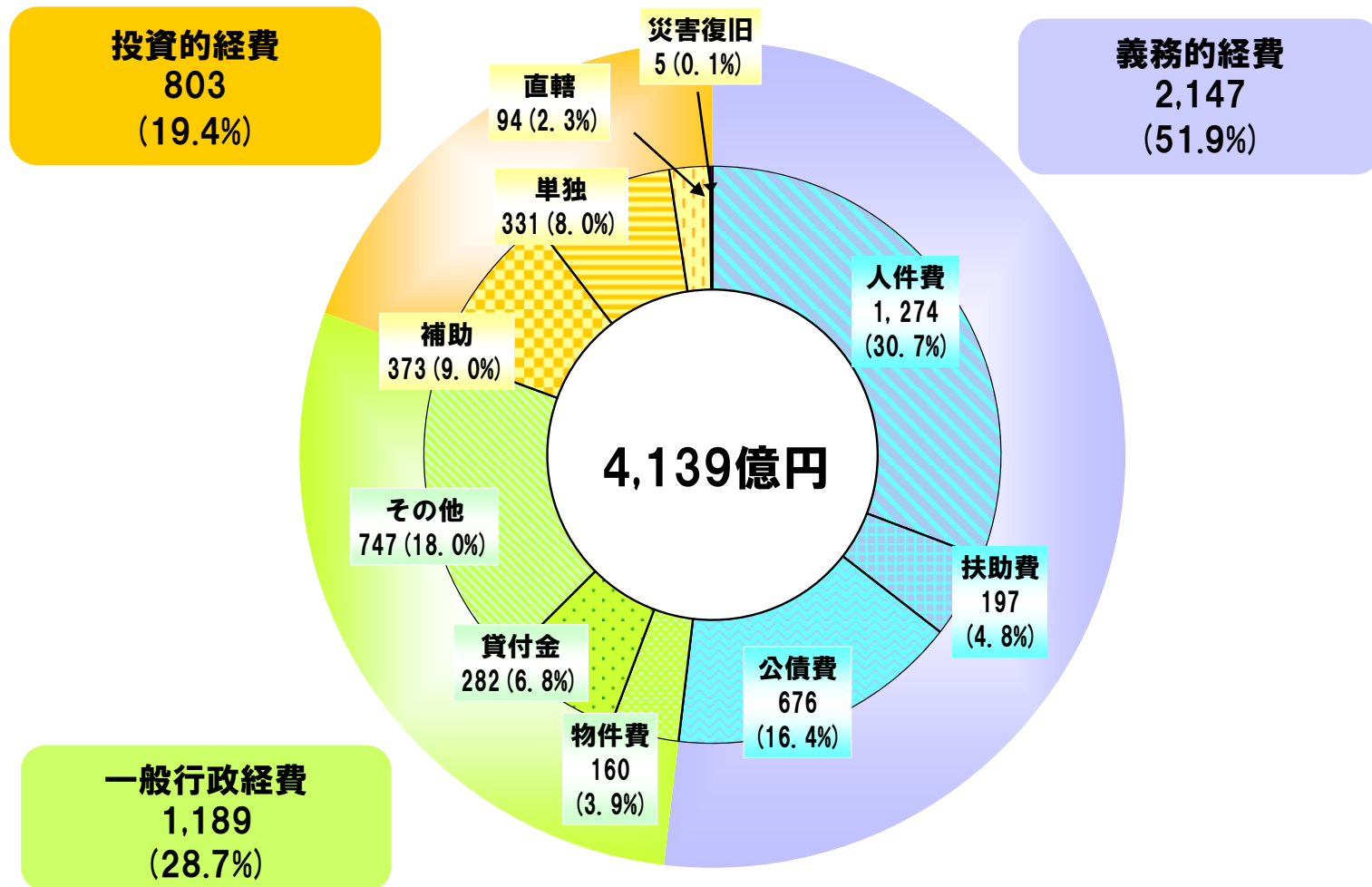


予算規模の推移

これまでの景気対策の減少に伴い、平成25年度当初予算は減少している。

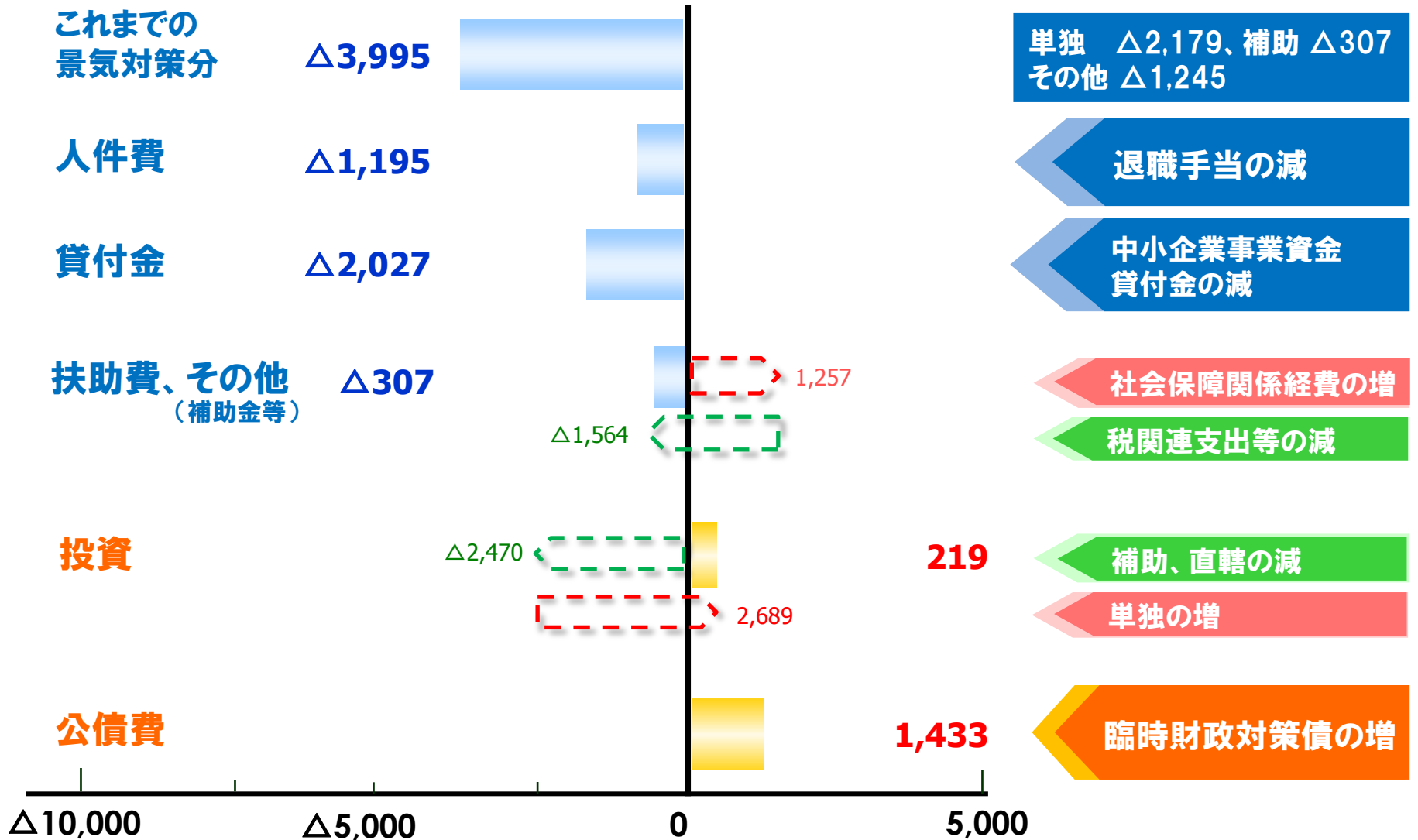


1 歳出予算の概況（性質別）

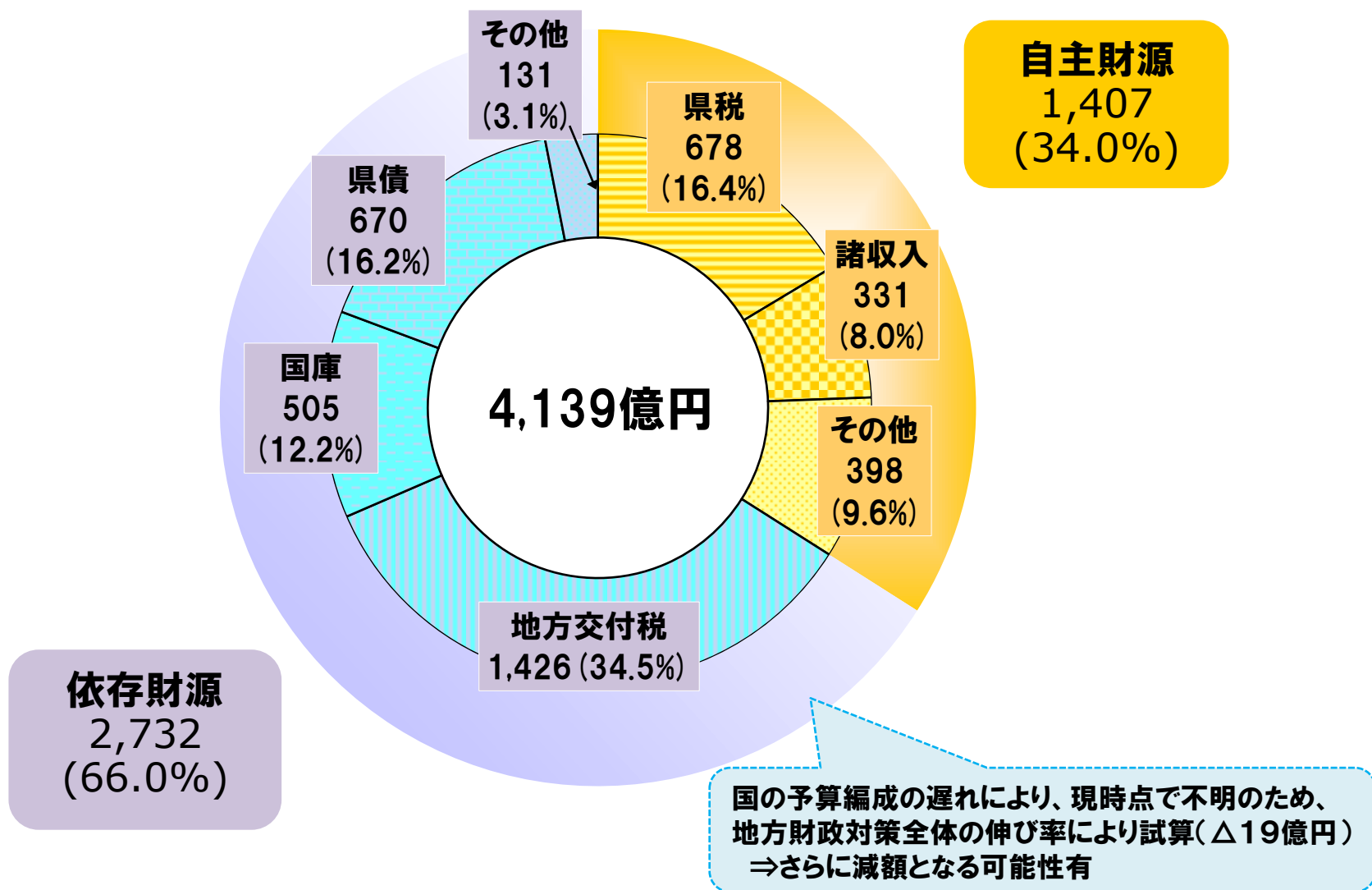


歳出の主な増減額(H24当初→H25当初)

(単位：百万円)

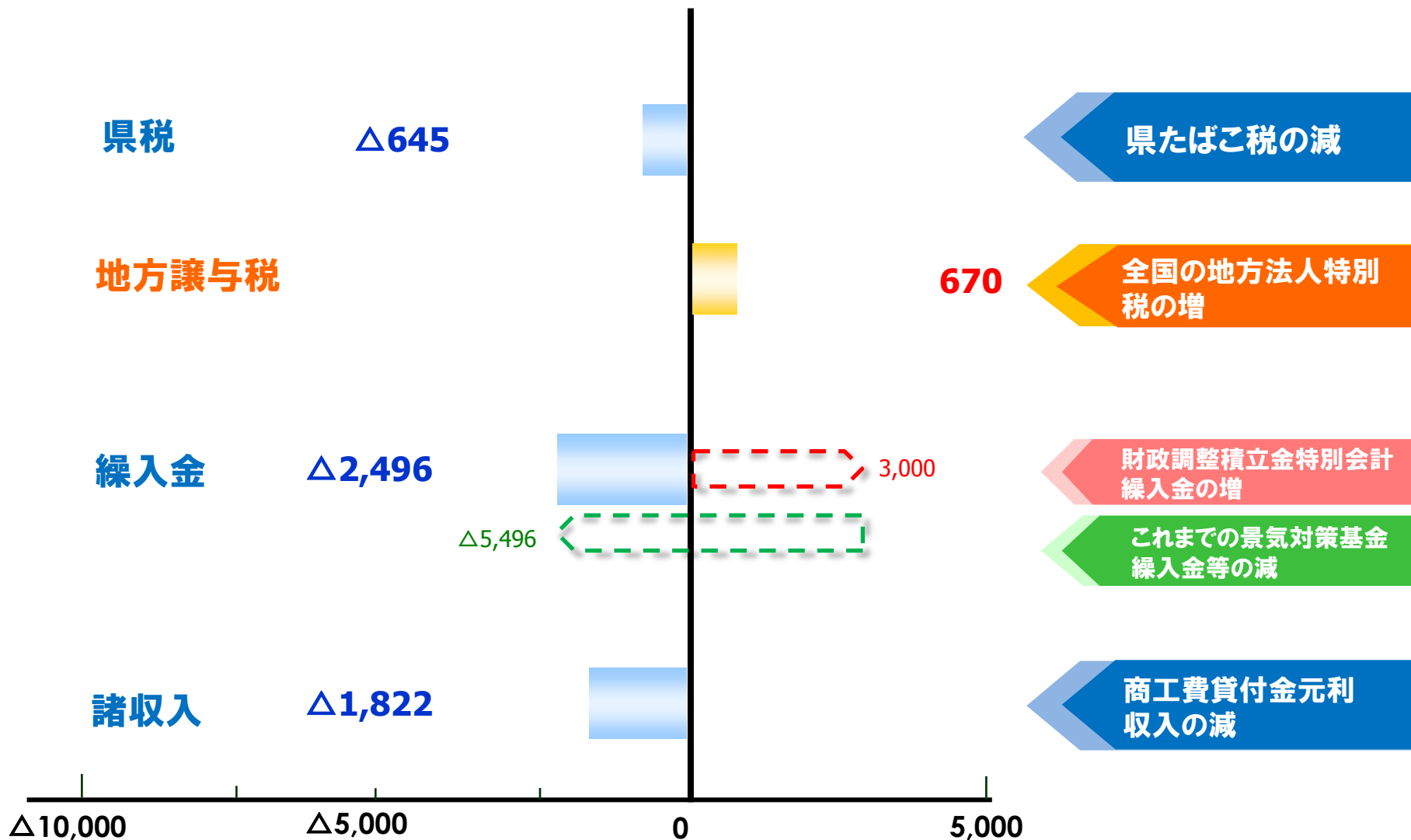


2 歳入予算の概況

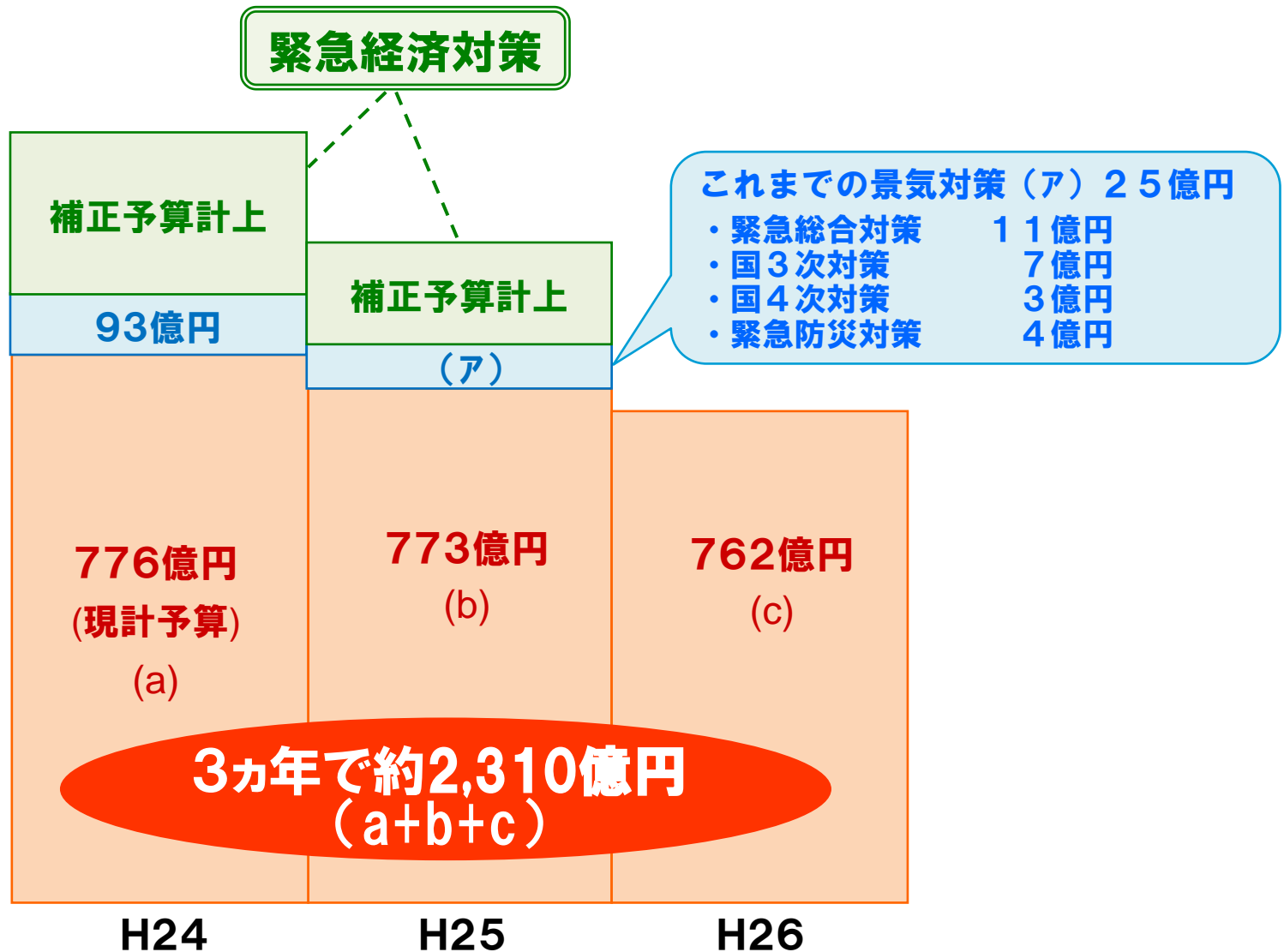


歳入の主な増減額（H24当初→H25当初）

（単位：百万円）



公共投資の総額調整(H24~26年度)



公共投資総額(773億円)の主な事業

事業名等	予算額 (億円)	事業概要	担当課
県土づくり本部	585.2		
県土づくり本部以外の主な事業			
○県立学校耐震改修促進事業費	30.3	県立学校耐震補強・改築等	教育支援課
○本庁ストックマネジメント事業費	6.3	新行政棟・議会棟空調熱源設備改修等	資産活用課
○特別養護老人ホーム等整備費補助	5.9	養護老人ホーム等施設補助	長寿社会課
○警察署改築費	3.6	佐賀南・鹿島警察署新改築	警察本部 会計課
○総合体育館火災復旧事業費	3.3	総合体育館体操場再建等	スポーツ課
○県立学校施設UD・校舎等整備費	2.9	県立学校UD整備等	教育支援課
○交通安全施設整備費	7.0	信号機改良・道路標識等	警察本部 会計課
○私立学校施設設備整備費補助	2.8	私立中学・高校・幼稚園施設整備等補助	こども未来課

Ⅲ 平成25年度当初予算における主要事業

1.安全・安心

- 消防学校訓練施設改築事業



2.環境・エネルギー

- 有明海再生方策検討事業



3.くらし

- CSO活動基盤整備支援事業
- がん先進医療受診環境づくり事業
- 聴覚障害者サポートセンター（仮称）整備事業
- ドクターヘリ単独運航事業



4.産業・雇用

- 農業経営の多角化への支援の充実・強化
- 中小企業連携強化促進事業費補助



5.情報発信

- 情報発信プロジェクト



6.国際化

- 国際交流・国際取引の推進
- 韓国人観光客誘致対策事業



7.文化・スポーツ

- 「岡田三郎助と近代洋画の佐賀」推進事業
- スポーツイベント等開催推進事業
- プロサッカーホームスタジアム環境整備支援事業



8.人材育成

- いじめ対策等外部人材活用事業
- 全国高校総体（北部九州総体）



消防防災課 19,433千円

目的

消防学校の訓練施設を建替え整備し、より安全で効果的な教育訓練を行うことにより、複雑多様化する災害に的確に対応できる「現場で活躍できる消防人」を育成する。

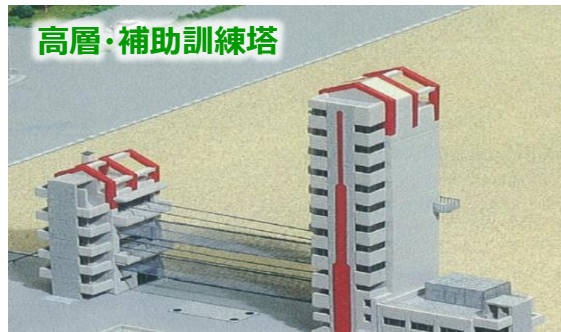
事業内容

訓練施設の基本・実施設計

整備スケジュール

- 基本・実施設計（平成25年度～26年度）
- 本工事（平成26年度～27年度）

施設イメージ



写真：山口県



写真：香川県



有明海再生・自然環境課 12,000千円

目的

諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門に伴う底生生物や水質等の変化を把握し、開門による効果の検証を行うとともに、得られた科学的知見等により、有明海湾奥部の再生方策を検討し、効果的な再生策の実施に資する。

現状

有明海湾奥部では、毎年夏季に貧酸素水塊が発生し、二枚貝類が大量死するなど漁業不振が続いている。

事業内容

- 1 調査期間 H25～30年度
- 2 調査場所 有明海湾奥部
- 3 調査頻度 年5回
- 4 調査項目 底生生物の種類・
個体数、水温、塩分、
濁度 等

調査結果

- ・生物生態系の観点からの開門の効果の検証
- ・有明海湾奥部の再生方策の検討



男女参画・県民協働課 14,000千円

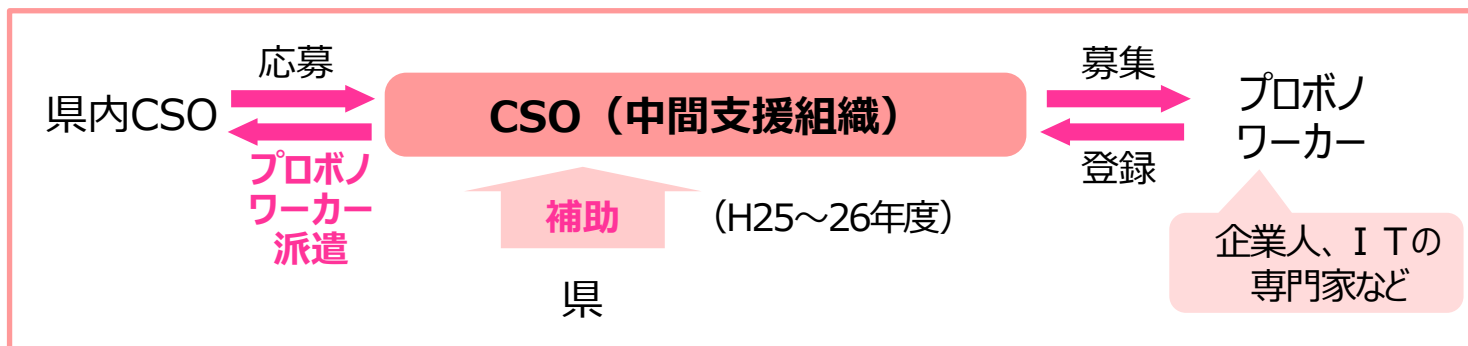
目的

県内のCSO（市民社会組織）が、公益性の高いサービスを自立的に提供できる環境を整備するため、CSOへのプロボノ（※1）活動や県民ファンド（※2）を運営するCSOに対して支援する。

※1 プロボノ：職業上のスキルを活かしたボランティア

※2 県民ファンド：CSOが運営し、県民からの寄付を基にCSO活動に助成するための基金

事業内容



粒子線治療普及グループ 18,103千円

目的

本県のがん対策の一環として、有効な治療法でありながら公的医療保険の適用がないがん先進医療の普及を図るため、県民ががん先進医療を受診しやすい環境づくりを行う。

事業内容

治療費 助成制度

- 県民ががん先進医療を受ける場合に治療費を助成
・助成額：治療費の10分の1以内（限度額30万円）

利子補給 制度

- 県民ががん先進医療の治療費を金融機関から借り受けた場合の利子を補給
・補給額：治療費に係る金融機関からの借入利子
（補給利率6%以内、補給期間7年以内）

事業期間

平成25年度～〔平成25年10月1日～（治療開始日を基準）〕



目的

障害福祉課 46,947千円

聴覚に障害のある方は、日常生活でのコミュニケーションにハンディキャップを抱えていることから、その社会参加を進めるため、手話通訳等の養成・派遣や相談支援等を行う「聴覚障害者サポートセンター(仮称)」を整備する。

事業内容

- **事業期間** : 平成25年度 (平成26年度当初開設予定)
- **設置場所** : 新商工ビル (仮称) 4階 <佐賀市白山>
- **整備内容** : 聴力検査機器、映像製作編集機器、緊急用信号装置等の整備

聴覚障害者サポートセンター(仮称)の機能

- ・ 手話通訳、要約筆記者の養成・派遣
- ・ ピアカウンセリング (同じ障害のある方による相談対応)
- ・ 聴力・補聴器に関する相談
- ・ ICTを活用したコミュニケーション支援
- ・ 手話・字幕入り映像の製作編集 など



医務課 88,524千円

目的

重篤な救急患者に対し、医師が速やかに現場に赴き、現場から治療を開始し、迅速かつ適切な医療機関に搬送を行うことで、救命率の向上や後遺症の軽減を図るため、佐賀県独自のドクターヘリを運航する。

事業内容

平成25年11月に運航開始を予定している佐賀県独自のドクターヘリの運航に要する費用について、ドクターヘリ基地病院へ補助を行う。

(ドクターヘリ運航経費、搭乗医師・看護師確保経費など)

平成25年秋運航開始予定



【写真：大分県ドクターヘリ】



目的

生産者支援課 16,812千円

農業者等が、農産物の生産だけでなく、加工や流通などの農業経営の多角化に積極的にチャレンジできるような環境づくりを推進するとともに、さらなる経営の多角化を図るための支援を行う。

事業内容

専門家による
指導・助言の
機会の拡大
【拡充】

- 専門的知識・技術を有する専門家の派遣回数
の拡大



小規模な施設
設備整備を支援
【新規】

- 農業者等が農産物の加工及び販売に必要な
小規模な施設設備整備への支援
・補助率 1/3以内（限度額 2,000千円）



中小企業連携強化促進事業費補助

目的

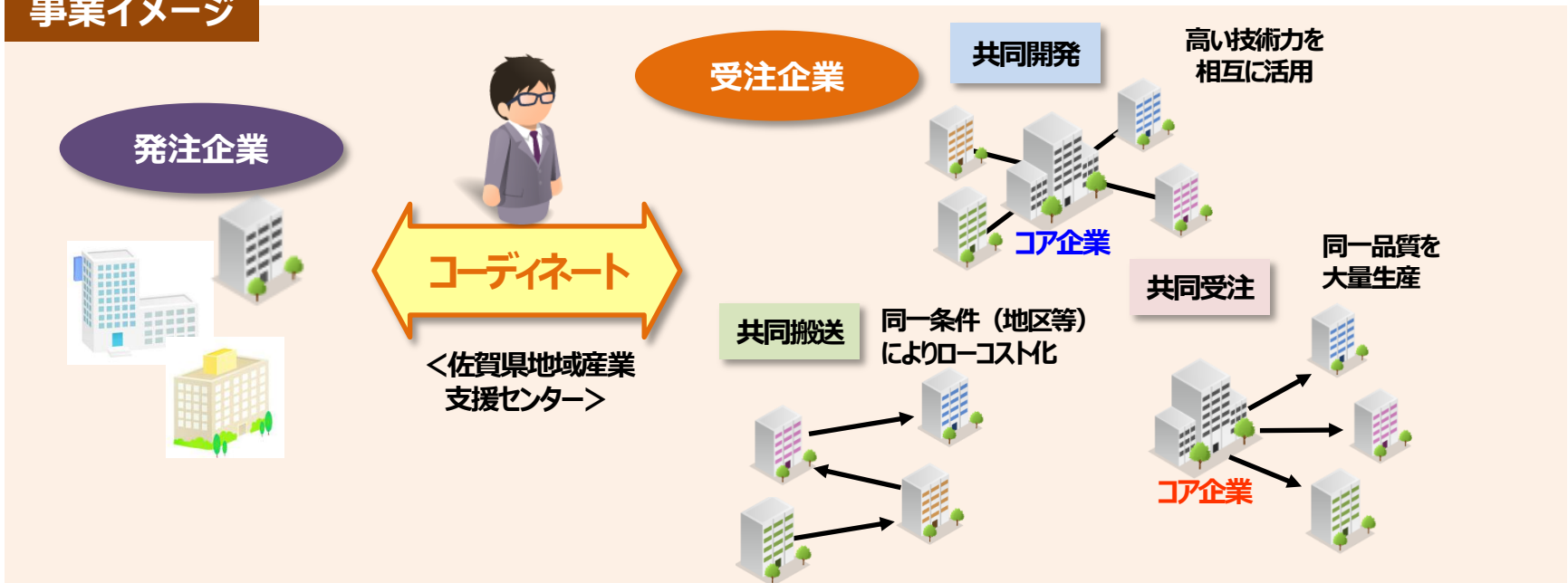
新産業・基礎科学課 20,715千円

県内ものづくり中小企業の経営を強化するため、発注企業側が求めるニーズ（ユニット部品・大量納品・ローコスト化）に応えられる新規事業展開に向けて、企業連携体構築を支援するコーディネータを配置する。

事業内容

コーディネータを3名配置し、企業連携体の構築を支援するとともに、新規事業展開に向けた各種取組（県内企業技術開発・製品化支援等）を実施する。

事業イメージ



情報発信プロジェクト

危機管理・広報課 183,494千円

目的

現状

東京エリアにおいて、佐賀県に対する興味・関心、認知度が低いため、佐賀県に関する様々な情報がなかなか消費者に届きにくい。

その現状を改善するために、佐賀県全体の認知度を高め、イメージを向上させるための情報発信を行い、佐賀県に対して興味・関心を持ってもらうことで、佐賀県のことにより気づいてもらえるようになり、物産や観光などをはじめとした様々な佐賀県の情報が、東京エリアの消費者に、より届きやすい環境をつくりだす。

事業内容

企業やブランド／雑誌やTVなどメディア／カフェ・ショップ、イベントなどとのコラボレーション

SNSやブログ、口コミで佐賀のことが話題化

佐賀モノ・技術 × 企業・ブランド

新たな商品・サービスの開発

佐賀モノ・技術 × 雑誌やTV

佐賀県に興味・関心を持ってもらえる情報

佐賀モノ・技術 × カフェやショップ、イベント

佐賀県と触れる機会や場面をつくる



twitter



認知度・イメージ向上

興味関心を持つ

佐賀県の情報が届きやすい

東京エリアのターゲット



目的

グローバル化が進展する中、より多くの県民が国際理解を深めるとともに、県内在住外国人が安心して生活できる「多文化共生社会」づくりを推進していくために、国際交流支援拠点を整備する。また、県内企業の国際取引を支援するため、国際ビジネス支援拠点を整備する。

国際戦略グループ、国際交流課 48,870千円

事業内容

- 事業期間 平成25年度（平成26年度当初開設予定）
- 設置場所 新商工ビル（仮称）1階及び6階 <佐賀市白山>

国際交流支援拠点整備事業 40,624千円

- ・在住外国人支援（日本語教室、コミュニケーション支援等）
- ・国際交流、国際理解の促進（国際理解講座、国際交流イベント等）

国際ビジネス支援拠点整備事業 3,246千円

- ・経済団体、金融機関等と連携した国際ビジネス相談への対応
- ・海外での活動支援（国際取引、見本市・商談会出展支援）



目的

観光課、空港課 117,958千円

ジンエアとの間で、有明佐賀空港－仁川国際空港間の路線開設について合意に至ったことを好機と捉え、韓国からの観光客の誘致及び有明佐賀空港の利活用を促進することで、佐賀県の国際化の一層の推進を図る。

事業内容

韓国人観光客誘致対策



- 県の認知度向上を目的とした韓国内での広報・PRの実施
- 集客アップのための県内受入キャンペーンの実施

プラス

- 海外からの多くの観光客を受け入れるための観光地の多言語表示の推進、Wi-Fi環境の整備促進

路線定着・誘客対策



- 路線定着に向けた運航支援
- 旅行会社に対する補助
- 国内広報の実施

外国人観光客・経済波及効果の拡大

佐賀県の国際化の推進

東アジアの国や地域との交流拡大

目的

県立美術館において、佐賀県出身で、日本近代洋画家の巨匠と呼ばれる岡田三郎助の絵画を購入するとともに、岡田作品の常設展示室を整備、公開することにより、文化に親しむ県民のすそ野の拡大を図る。

文化課 147,200千円

事業内容

資料整備

◆岡田三郎助 最晩年の傑作『裸婦』の購入

一連の岡田コレクションを完成させ、佐賀県ゆかりの作家の作品を充実



岡田三郎助

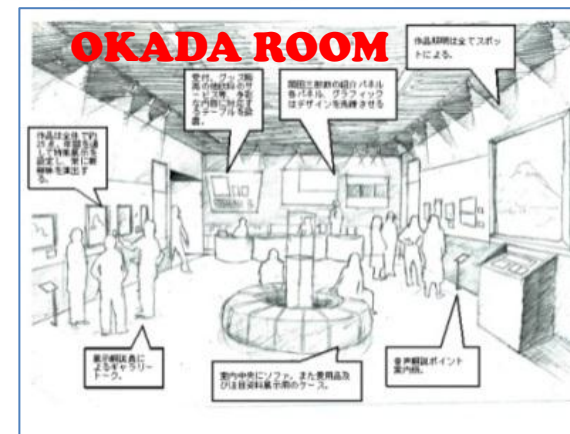


「裸婦」

施設整備

◆「OKADA ROOM」(仮称) の設計

岡田三郎助の作品を中心に、愛用品などを常設展示
(平成25年度 設計、平成26年度 整備、開設)



目的

各種スポーツイベントの誘致や受け入れのコーディネートを行う「スポーツコミッション」を通し、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致等を行うことにより、スポーツを通じて佐賀県の情報発信を行う。

スポーツ課 26,084千円

事業内容

スポーツコミッション事業

- ◆各種スポーツイベント・合宿誘致を展開
 - ・スポーツイベント主催者等への積極的な誘致活動 など

スポーツイベント開催事業

- ◆トップレベルスポーツイベントの実施
 - ・県が主導してトップレベルのスポーツイベントを開催
- ◆スポーツ大会の誘致
 - ・国際大会や全国大会を誘致するための補助

スポーツ合宿補助事業

- ◆トップレベルの選手が所属するスポーツ団体の合宿を誘致するための補助



スポーツ課 156,000千円

目的

佐賀県唯一のプロサッカーチーム「サガン鳥栖」の活躍は、県民に夢・感動と活力を与え、スポーツへの関心を高めるとともに全国に向けての本県の情報発信につながることから、今後もサガン鳥栖が J 1 で活躍できるよう環境整備の支援を行う。

事業内容

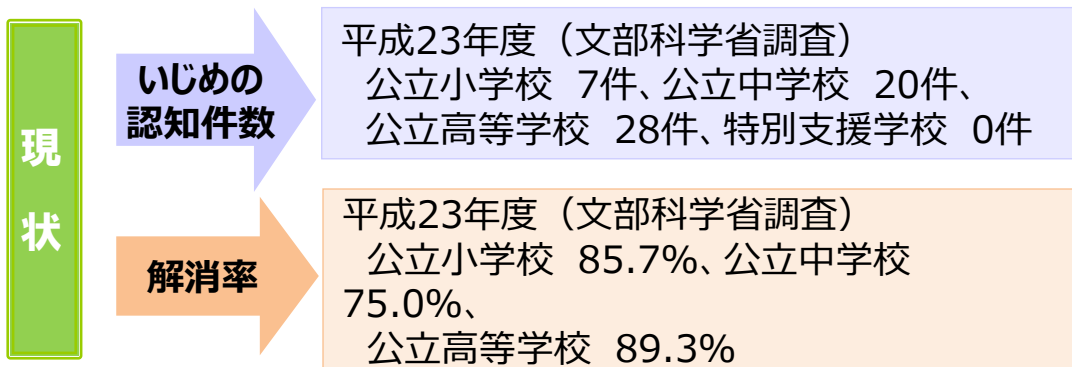
- (1) 事業期間 平成25年度～平成26年度
- (2) 実施主体 鳥栖市
- (3) 対象施設 ベストアメニティスタジアム（鳥栖スタジアム）
- (4) 対象経費 サガン鳥栖が J 1 で活躍できるよう鳥栖市が行うホームスタジアムの整備に要する経費



学校教育課 7,998千円

目的

元警察官や弁護士などの外部人材を活用した学校支援を行うことにより、いじめ問題等の早期対応・解決を図る。



事業内容

I 生徒指導支援員（元警察官）を課題のある学校に派遣する取組

- ・教育事務所に3名の生徒指導支援員を配置し、各学校からの要請に応じて県教育委員会が派遣し、問題解決に向けて当該校の支援にあたる。

II 外部専門家（弁護士・精神科医等）を活用して学校を支援する取組

- ・学校だけでの解決が困難ないじめ問題等について、外部専門家を活用した学校支援の体制を整備する。

学校教育課 415,520千円

目的

高等学校教育の一環として、平成25年度全国高等学校総合体育大会（北部九州総体）を北部九州4県共同で開催するとともに、大会に向けて競技力の向上を図る。

事業内容

大会開催事業	競技力向上事業
<p>■大会準備・開催（8競技9種目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウントダウンイベント（100日前） ・競技種目別大会の開催 ・高校生活動（大会PR、歓迎、運営サポート等） ・競技情報配信（動画、速報） など 	<p>■競技力向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県開催競技（8競技9種目）の強化 ・北部九州総体出場選手の強化



大会概要

- 期間 平成25年7月28日（日）～8月20日（火）
- 場所 北部九州4県（佐賀県、福岡県、長崎県、大分県）
※総合開会式は大分県で開催
- 佐賀県開催競技 8競技9種目（全体29競技33種目）
体操・新体操、ハンドボール、サッカー（女子）、剣道、ボクシング、ヨット、アーチェリー、なぎなた
- 参加者 選手・監督 約6,500人、応援者（延べ数） 県内外から約11万人（見込み）



佐賀県緊急経済対策
平成25年度 当初予算案



お問い合わせ先

佐賀県 財務課

☎ 0952-25-7014

✉ zaimu@pref.saga.lg.jp



社会保障関係経費の推移について

H24→H25
+12億57百万円

495億35百万円

507億92百万円



- ①後期高齢者医療財政安定化基金交付金+400百万円
(増高する保険料抑制のための基金活用に伴う増)
- ②介護給付費負担金+171百万円
(高齢化に伴う対象者の増)
- ③国保保険基盤安定負担金+134百万円
(保険税軽減対象者(低所得者)の増)
- ④国保県財政調整交付金+119百万円
(国保医療給付費の増)

障害者自立支援給付費+229百万円
(自立支援給付費対象者の増)



<http://www.pref.saga.lg.jp>